



基本理念
私達は心の
こもった医療を
行い、地域に信頼
される病院とな
ることを目指し
ます。
独立行政法人
国立病院機構高知病院

編集●独立行政法人国立病院機構高知病院広報誌編集委員会／代表●先山正二／住所●高知市朝倉西町1丁目2番25号／電話 088-844-3111／FAX 088-843-6385

院長就任にあたって

NHO 高知病院 院長 先山 正二



この度、4月より大串前院長の後任を務めることになりました先山です。これからどうぞよろしくお願い致します。

今、日本はもとより世界が新型コロナウイルスと戦っています。現在、罹患し闘病されている患者の皆様の1日も早い回復を願うとともに、残念ながら亡くなられた方およびそのご家族に哀悼の意を捧げます。

また、新型コロナウイルスとの最前線で日々診療にあたっている医療者の皆様に、同業者として敬意とエールを送りたいと思います。当院においても、地域の医療関係者、行政（県、市、保健所、衛生研究所など）、そして当院職員の皆が新型コロナウイルス対策と診療に尽力している場面に接するにつけ、皆が連携してこの災難に立ち向かっていることを日々実感しています。

この原稿を書いている時点で、世界中で感染者、死者および回復者はそれぞれ230万人、16万人、60万人、国内ではそれぞれ10,296人、222人、1,069人と報じられています。4月16日夜には、感染拡大を防ぐための緊急事態宣言の対象地域が全国に拡大されましたが、人との接触を8割減らすには一層の努力が必要なようです。

現在の状況を新型コロナウイルスとの戦争だとするならば、不覚にも敵の侵入を許し、備えも十分ではなかったため予想以上の人的損害を被っている状態で、敵の攻勢を許している状態だと思います。しかし、これから数ヶ月後には、感染防御具、医療機器の充足、PCR検査数の増加と迅速化等の検査体制整備、アビガンなどの

既存薬剤の臨床試験結果など防御体制が徐々に整い、強化されてくることが期待されます。ワクチン開発、より有効な薬剤開発へと反撃、攻勢に出て、最終的には集団免疫を獲得し、この疾患によるパンデミック状態が収束し、私たち人類は必ずやこの戦いに勝利すると思われれます。

ただし、最近の国内外の専門家の意見として、この戦いに一定の目処がたち、そのようになるには少なくとも1年、場合によっては2年を要すると言われており、我々も長期戦を見据えて辛抱強く戦ってゆく心構えと備えが肝心だと思います。

今は人との接触を極力減らすなどの強力な公衆衛生的な手段を基本的戦略として、賢く耐える時期ではないでしょうか。また、国や自治体には、最前線で戦っている医療者、医療現場に人、モノ、金の投入を可能な限り速やかに、より一層強化していただきたいものです。

私も、当院の責任者として、当院が国立病院機構の、高知県の基幹病院の一つとして、地域の皆さんに対してその責務を果たすとともに、当院の職員を守る決意でこの状況に臨んでいます。皆で知恵を絞り、協力、連帯してこの危機を乗り切っていきましょう。



新幹部職員紹介

副院長 福田 昇司

4月1日付けで副院長を拝命いたしました福田 昇司（ふくたしょうじ）と申します。2016年4月に整形外科に赴任して、はや4年が経過しました。昨年は統括診療部長として整形外科診療だけでなく病院運営にも取り組んできましたが、おもうような成果がえられず、力不足を実感しております。昨年世間を騒がせた病院再編問題では幸いにも「再編・統合の議論が必要」な病院のリストからはもれましたが、安心していただける状況ではありません。

当院は平成16年に国立から独立行政法人化され、独立採算が原則となったため、高度な医療を維持するためには収益の確保が必須です。しかし、社会の高齢化による影響でここ数年にわたり、外来、入院患者数は減少傾向にあります。経営改善のため早急な対策が必要な時期ではありますが、新型コロナウイルスの感染拡大により、わたしたちも今までに経験したことのない状況に直面しています。安心、安全な医療を提供し続けられるように、病院スタッフが一丸となって努力していくことが、地域の基幹病院である当院の使命であると考えています。

この厳しい環境の中ではありますが、先山新院長とともに高知病院の発展のため精一杯尽くす所存です。今後とも、ご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



事務部長 渡邊 和幸

4月1日付けで事務部長として赴任いたしました渡邊 和幸（わたなべ かずゆき）と申します。

平成12年10月新高知病院の開院当時、高松に在ります四国厚生支局（当時は四国地方医務支局）勤務中、開院にあたり色々関わらせて頂きましたので、大変思い入れの深い病院であるとともに、あれからもう20年になるのかと思うと月日の経つのは早いものだと改めて感じているところです。

出身は愛媛県です。これまで香川・徳島・広島・山口県を転々としてまいりまして、重複施設を除きますと高知病院が10施設目の勤務先となります。現在は香川県丸亀市が生活の拠点となっており、週末には“朝うどん”に舌鼓を打っています。高知にも美味しいものが沢山ありますので、それはまた追々楽しみたいと思います。

昨年より、エクササイズ（exercise）を目的にロードバイク（自転車）を始めました。一式揃えるのにそれなりに費用が掛かりましたが、実際に走ってみると想像以上に面白く爽快です。気の向くまま自由に走ることができるのがいいですね。怪我をし

ない程度に続けていきたいと思っています。

令和になって2年目となりました。医療を取り巻く環境は刻々と変わっていきます。当院がこれまで以上に健全な病院運営が出来ますよう、微力ながら精一杯努力する所存ですので、どうぞよろしくお願いいたします。



新医師紹介

麻酔科医師 久米 克佳

この度、4月1日付けで麻酔科に赴任いたしました久米 克佳（くめ かつよし）と申します。

徳島県出身で徳島大学を卒業しました。徳島県、香川県で病院勤務し、初めて高知県に赴任いたしました。

高知での生活は初めてで慣れないこともたくさんありますが、早く慣れていきたいです。

麻酔科専門医として小児から高齢者、重症患者の症例などの麻酔は一通りは経験しており、麻酔科医として高知県の医療に少しでも貢献できるように努めていきたいと思っています。

ご迷惑をおかけいたしますが、どうぞよろしくお願いいたします。



消化器内科医師 高橋 早代

4月から消化器内科に赴任致しました高橋 早代（たかはし さよ）です。徳島県出身で徳島大学を卒業した後、徳島大学病院・麻植協同病院（現 吉野川医療センター）・徳島県立中央病院・鳴門病院で勤務し、この度、高知病院で働かせて頂くこととなりました。

徳島県以外での勤務・生活は初めてで、高知県へ来てから約3週間が過ぎましたが、病院と自宅を行き来するだけで、まだまだ右も左も分からない状態が続いています。

新しい環境で、慣れないことも多く、病院の先生方・スタッフの方々に、色々とお迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、少しでも高知市西部地域の医療に貢献できるよう頑張りたいと思っています。宜しく御願い致します。



消化器内科医師 高橋 拓

この度、4月1日付で消化器内科に赴任してまいりました高橋 拓(たかはし たく)と申します。

出身は徳島県で、徳島大学を卒業後は徳島大学病院に勤務し、昨年は徳島県の吉野川医療センターで勤務しておりました。

高知での生活は慣れないことも多々ありますので、他科の先生方、スタッフの皆様方、地域の皆様方にはなにかとご迷惑をお掛けすることもあるかとおもいますが、消化器内科医として高知での医療に少しでも貢献できるように尽力してまいりたいと考えておりますので、今後とも何卒よろしくお願いいたします。

高知県で生活するのは初めてであり、慣れない土地で色々ご迷惑をかけることもあると思いますが、日々努力して参りたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



耳鼻咽喉科医師 武田 貴志

この度4月1日付けで赴任いたしました、耳鼻咽喉科の武田 貴志(たけだ たかし)です。徳島大学を卒業した後、香川県立中央病院、徳島大学病院、徳島県立中央病院と勤め、ここ国立高知病院に参りました。

国立高知病院へは実は初めてではなく、学生時代に学外実習として1ヶ月みっちりお世話になっておりました。7年も前になりますが、当時は現耳鼻咽喉科長の中野先生がおられた時で、今と変わらず優しくご指導いただいたのを覚えています。美味しいお酒と料理も覚えています、今のご時世、そちらはもう少し先の楽しみとして取っておこうと思います。

当院耳鼻咽喉科は2名と少数ではありますが、信頼に足る医療とフットワークの軽さで、高知市西部地域の耳鼻咽喉科医療に微力ながら貢献して参りますので、いつでも気軽にお声かけください。これからよろしくお願いいたします。



呼吸器内科レジデント 近藤 圭大

この度4月から内科に赴任しました近藤 圭大(こんどう よひろ)と申します。出身は徳島県で、島根大学を卒業したのち徳島市民病院で初期研修を行いまして、徳島大学呼吸器・膠原病内科に入局しました。

呼吸器内科に力を入れておりますが、内科全般で高知の医療に貢献できればと思っております。



新任職員紹介

副看護部長 小笠原 あゆみ

この度、4月1日より四国こどもとおとなの医療センターから転勤して参りました、小笠原 あゆみ（おがさわら あゆみ）と申します。前勤務場所の四国こどもとおとなの医療センターでは、スタッフと共に良質な看護の提供の為に、ワンチームとなり取り組んできました。9年間の善通寺を振り返ると周りの方々の温かい支えがあり成長することができたと実感しています。

出身は高知県で、高知病院で働くのは10年ぶりとなります。10年ひと昔と言うようにすっかり変わっている事もあれば、なつかしい方もたくさんおられ、温かい声をかけてくださり感謝しています。役割も変わり新規一転、高知病院の発展に尽力できるよう頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



看護師長 山本 美恵

この度、4月から四国がんセンターから転勤してまいりました。山本 美恵（やまもと みえ）と申します。高知県出身です。四国がんセンターでは、呼吸器外科・内科病棟で勤務し、患者さんの思いに沿った看護の提供をめざし、スタッフとともに取り組んでまいりました。数年前、当院で勤務していた頃は外来勤務でしたが、今回、外科病棟である3階南病棟とHCUに所属となりました。高知病院での病棟勤務は初めてで、3階南病棟とHCUの兼任ということで不安と緊張でいっぱいですが、明るく元気なスタッフと共に、患者さんの思いに寄り添った看護が提供できるよう頑張りたいと考えております。まだまだ未熟で、至らぬところが多々あるかと存じますが、精一杯努力していきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



看護師長 小松 里香

この度、4月から6階北病棟看護師長として着任した小松 里香（こまつ りか）と申します。

私は四国こどもとおとなの医療センターから転勤してきました。初めての一人生活となります。地元は徳島の県西部で、勤務地が香川の時には、片道35km、所要時間1時間かけて毎日通勤しておりましたが、高知は片道100kmのため体力的に厳しいと判断し、こちらで生活することにしました。

高知に来る機会は殆どありませんが、徳島の自宅周辺には

サンシャインがあり、高知の食材を手軽に入手できておりました。そのようなお店が身近にあったためか、スムーズに高知に馴染めそうな気がします。

まだまだ分からないことも多く、不安と緊張の日々ですが、先輩方からの温かい指導やサポートを頂きながら成長していきます。至らないところも沢山ありますが、これからもよろしくお願いいたします。



看護師長 岸田 恵

4月1日付で四国がんセンターから転勤して参りました。5階北病棟看護師長の岸田 恵（きしだ めぐみ）と申します。生まれも育ちも愛媛県で、高知県では慣れないことばかりですが、食べ物美味しいと先輩方からお聞きし、高知県での生活を満喫したいと思っています。前病院では、主にがん化学療法を受けられる患者さんやご家族の看護を行って参りました。高知病院では、地域に信頼される病院づくりを学びたいと思います。不慣れなことばかりでご迷惑をおかけすることありますが、どうぞよろしくお願い致します。



教員 露口 絵美

4月1日付で徳島病院から高知病院附属看護学校へ転勤してまいりました。露口 絵美（つゆぐち えみ）と申します。前任地では看護師として勤務して参りました。教員としては新人です。看護師を目指す学生と関わること、大好きな看護と一緒に学んでいけることを大変嬉しく思っています。今は、先輩方からの温かいご指導やサポートをいただきながら、教員としての姿勢、知識や技術を学んでいます。これから経験を積み、学生と共に日々成長していきたいと思っています。至らないことも多くありご迷惑おかけすると思いますが、どうぞよろしくお願い致します。



教員 月原 亜紀

4月1日付で福山医療センターより看護学校へ転勤してまいりました、月原 亜紀（つきはら あき）と申します。

私は愛媛県の出身で、広島西医療センターと福山医療センターで看護師経験を積みこの度、看護教員になりました。学生の自由な発想を大切に、共に成長していきたいと考えています。

初めて経験することばかりで戸惑うことが多くありますが、先

輩方からご指導を頂きながら、早く自分の役割を果たせられるように精いっぱい頑張ります。よろしくお願いいたします。



臨床検査技師長 香川 昭博

4月より臨床検査技師長として赴任いたしました香川 昭博（かがわ あきひろ）と申します。

高知病院には15～20年ほど前に6年間ほど勤務しており、着任してからその頃に一緒に働かせていただいた方々に再びお会いでき、当時を懐かしんでおります。

私は徳島を除く四国3県と広島県に転勤してきましたが、高知は自然と街がほど良く融合し、温暖で大変住みやすく、私の大好きな街です。そんな街で過ごせるこれからの生活を大変楽しみにしております。

国立病院機構の病院は、高知県内に、ここの施設のみで、地域に根付いた中核病院として機能しています。そんな病院に私自身、微力ながら少しでもお役に立てるように取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願い致します。



製剤主任 野村 竜也

この4月に岡山県の国立療養所邑久光明園より転勤して参りました野村 竜也（のむら たつや）と申します。出身は京都府です。国立病院機構に就職して以来、これまでに数箇所の病院等で勤務して参りましたが、四国での勤務は今回が初めてとなります。

これまで、行政機関（厚生労働省、医薬品医療機器総合機構）における調査・相談業務、治験管理室での治験・臨床研究の支援、ハンセン病療養所での入所者の方々への医療提供といった職務に従事していた期間が長いですが、これらの経験を高知病院のために少しでも活かしていきたいと思っています。

新型コロナウイルス感染拡大阻止に向けた対応の真只中という大変な時期に高知病院に赴任して数週間経ちますが、周囲の皆様に助けをいただきながら日々の業務に早く慣れるべく励んでいるところです。早く慣れて、病院のため、地域の患者さんのために貢献できるように努力していきますので、何卒よろしくお願い致します！



生理学主任 堀川 明日香

4月1日付けで愛媛医療センターより転勤してまいりました臨床検査科の堀川 明日香（ほりかわ あすか）と申します。出身は愛媛県です。以前、高知病院で勤務した経験があり9年ぶりに戻ってくることとなり、とても懐かしく感じております。

現在は周りの方に助けていただきながら、なんとか業務をしているところです。

一日でも早く慣れて、少しでも貢献できるように日々努力していきたいと思います。

ご迷惑をおかけすることが多々あると思いますが、どうぞよろしくお願い致します。



保育士 山本 香織

4月1日より広島県の賀茂精神医療センターより転勤して参りました。保育士の山本 香織（やまもと かおり）と申します。

生まれはうどん県としてお馴染みの香川県で、この度初めて高知県での勤務となりました。

3月頃に1度高速を利用し高知県へときた際に、長いトンネルを抜けて山間が一面雪景色だったことがとても印象的でした。

高知県は初めての土地でもあるので戸惑うことも多いですが、自分らしさを忘れず日々利用者の方と関わっていきたいと思っていますのでよろしくお願い致します。



臨床検査技師 菅原 恵奈

4月から高知病院で勤務させていただいています臨床検査技師の菅原 恵奈（かんばら けいな）です。国立病院に就職後、他院勤務を経て久しぶりに地元高知に戻ってきました。高知病院は学生時代に実習でお世話になりましたので、とても懐かしい気持ちです。現在は生理検査を主に担当していますが、今まで経験のない覚えるべき業務も多く、不慣れでご迷惑をおかけすることもあると思いますが、精一杯努力していきたいと思います。皆様どうぞよろしくお願い致します。



保育士 西田 益三

この度、4月1日付けで愛媛医療センターから転勤してきました、療育指導室 保育士の西田 益三（にしだ ますみ）と申します。高知病院は、賀茂精神医療センター、愛媛医療センターに次いで3施設目になります。出身は愛媛県です。高知県は同じ四国内で、お隣の県ではありますが、ほとんど来たことがなく、毎日新鮮な気持ちで生活することができています。

日々の業務では、笑顔を忘れず、周りを巻き込むくらいの明るさで頑張りたいと思います。日々、利用者さんに寄り添い、皆さんが充実した日常生活が過ごせるよう支援させていただきまします。よろしくお願いいたします。



理学療法主任 丸橋 尚也

この度、4月1日付でリハビリテーション科 理学療法主任として赴任した丸橋 尚也（まるばし なおや）と申します。出身は高知の宇佐出身で太平洋の海とともに育ってまいりました。赴任する以前は愛媛医療センターで10年ほど勤務させていただき、この度地元である高知に帰ることとなり、高知の医療に携われる事を大変嬉しく感じております。愛媛医療センターでは、主に心臓リハビリや呼吸リハビリを担当させて頂いておりました。新しい環境で期待もある反面、分からないことも多くスタッフの皆様にご迷惑をお掛けしてしまうとは思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



業務班長 室山 孝

4月1日付で高松医療センターより業務班長として赴任して参りました室山 孝（むろやま たかし）です。

高知での生活は初めてですが、20年ほど前にキャンプでよく訪れていた、柏島にまた行ってみたいと思っています。

初めての業務もあることから、周りの方々に助けていただきながらなんとか業務をこなしているところですが、1日でも早く慣れ、高知病院の力になればと思っています。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。



専門職 田中 宏志

高松医療センターから転勤して参りました、医事専門職田中 宏志（たなか ひろし）と申します。今まで高松医療センター→愛媛医療センター→高松医療センターと転勤しており、高知病院で3施設目となります。趣味はマラソンなので太平洋の風を感じながらランニングできることを楽しみにやってきました。医事は初めての経験でご迷惑をかけることもあると思いますが、早く環境に慣れ高知病院の一員として貢献していきたいと思っています。宜しくお願いします。



職員係長 岡崎 亮

4月1日より転勤して参りました職員係長の岡崎 亮（おかざき りょう）と申します。

出身は高知県のいの町で就職とともに高知を離れ、愛媛医療センターで8年間勤務しておりました。初めての転勤で右も左もわからず、地元に帰ってきた喜びを感じる余裕もありませんが、職場の皆様助けられながらなんとか頑張っております。1日でも早くこの環境になれ、高知病院の発展に少しでも力添えできればと考えております。どうぞよろしくお願い致します。



新採用職員紹介

看護師 山崎 一

4月1日より1階北病棟で看護師として勤務させていただいております、山崎 一（やまさき はじめ）と申します。

出身は高知県で、高校生の時に参加した看護体験をきっかけに看護師になることを志しました。淡路島の大学卒業後は、地元で医療に貢献したいと思い、再び高知へ戻って参りました。

社会人としての新しい生活が始まり、不安や緊張でいっぱいでしたが、プリセプターさんやサポートナースさん、先輩方のご指導により充実した毎日を過ごすことができております。

まだまだ分からないことも多く至らぬ点もあるかと思いますが、これから看護師として患者さんに常に気を配り、個別性のあるケアを提供できるよう努力していきたいと思っています。これからどうぞよろしくお願い致します。



看護師 友納 麻美

4月から6階南病棟で看護師として勤務させていただいております、友納 麻美（ともなう あさみ）と申します。私は看護師を志す前は、違う業種で10年ほど社会人をしておりましたが、一度きりの人生、挑戦してみたいという思いから、一念発起し看護師としての道を歩み始めることとなりました。病棟での勤務がはじまり、師長さんをはじめ病棟の先輩方からあたたかく迎えられ、わからないことを聞きやすい環境に深く感謝しております。

世間は大変な状況にありますが、通勤する車の中で、人々の混乱をよそに当たり前に咲く花々や緑に癒されています。不安を感じることもありますが、苦しみのなかから成長は生まれる、という言葉があるように、逆境は成長のチャンスにも成り得ると思います。この状況に悲観せず、看護師としての責務と看護の基本を今一度考え、患者さんとそのご家族に最良の看護を提供したいと思っています。今後ともよろしくお願い致します。



看護師 川渕 朱里

4月から6階北病棟で看護師として勤務させていただいております、川渕 朱里（かわぶち あかり）と申します。高校時代の看護体験での患者さんや家族に寄り添う看護師の姿をきっかけに看護師を志し、この春、高知学園短期大学を卒業しました。病棟での勤務が始まり看護師としての責任の重さを実感しています。慣れないことばかりで緊張の毎日ですが先輩方に丁寧に指導していただき日々成長できる環境で多くのことを学んでいます。まだまだ分からないこともありご迷惑をおかけすることもあると思いますが基本を忘れずに安全で安心できる看護を実践し信頼される看護師になりたいと思います。これからどうぞよろしくお願い致します。



看護師 西川 雅世

4月1日より4階北病棟で看護師として勤務させていただいております、西川 雅世（にしがわ まさよ）と申します。

私は、当院で生まれ、当院の附属看護学校を卒業しました。自分が生まれた病院でお仕事ができることを嬉しく思っております。社会人ということで、新しい生活、新しい環境に不安や緊張がありましたが、病棟の先輩方の温かいご指導のもと、たくさんのことを学びながら充実した毎日を過ごしております。まだまだ知識も技術も未熟ですが、看護師として責任を

持ち、信頼される看護師になれるよう頑張っていきたいと思いをします。これからどうぞよろしくお願いいたします。



助産師 中嶋 秋沙

4月1日より4階南病棟で助産師として勤務させて頂いております、中嶋 秋沙（なかじま あいさ）と申します。出身は高知市で、小学生の頃に母の3人目の出産に立ち合ったことをきっかけに助産師を志しました。当院附属の看護学校、岡山県の機構病院附属の助産学校を卒業しました。新社会人ということで、不安や緊張の毎日ですが、プリセプターの方を始めとした先輩方は温かく迎えて下さり、手厚いご指導やサポートを頂きながら働いています。まだまだ分からないことも多いですが、助産師としてのアセスメント診断・ケアに責任を持ち、理想の助産師像に向かって日々邁進していきたいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。



助産師 中森 未空

4月から当院の4階南病棟で勤務させて頂いております。中森 未空（なかもり みく）と申します。出身は高知県で、この春、高知県立大学を卒業しました。私が助産師を志したのは、母の分娩体験を聞いたことがきっかけでした。母はよく私の産声テープを聞いて、私がどのように生まれてきたのか語った後、「生まれてきてくれてありがとう」と伝えてくれました。私はその話を聞くたびに母に感謝し、幸せな体験として残り続ける「出産」に携わることができる助産師になりたいと思いました。

病棟での勤務が始まり、不安や緊張の毎日ですが、先輩方より温かいご指導やサポートをいただきながら日々学んでいます。知識・技術を身につけ、対象者の方により良いケアを届けられる助産師を目指し、努力していきたいと思いをします。どうぞよろしくお願い致します。



薬剤師 込山 武弘

はじめまして。四月から薬剤部で勤務させて頂いております、込山 武弘（こみやま たけひろ）と申します。出身は高知市で大学時代を松山で過ごし、春から高知に戻ってまいりました。地元で地域のために働くことができる喜びを感じながらも、社会人として初めての職場ということ、さらにはコロナウイルスとの戦いに不安と緊張を感じることもありました。しか

し、先輩方の温かいご指導の下たくさんのことを学ばせていただいております、充実した日々を送っております。

社会人として、また薬剤師として、患者さんと共に働く皆様に信頼していただけるように、日々精進していきたいと思いをします。まだまだ至らぬ点も多いかと思いをしますが、よろしくお願い致します。



理学療法士 廣田 昌也

はじめまして。この度4月1日より当院のリハビリテーション科で理学療法士として勤務させて頂いております、廣田 昌也（ひろた まさや）と申します。

出身は愛媛県で、地元のフィットネスクラブでスポーツインストラクター、パーソナルトレーナーの仕事を経験した後に専門学校を卒業して、この春高知に参りました。こちらに来て数週間経ちますが、高知市内の街並みや路面電車の風景が地元である松山の風景に似ていて、とても親しみを感ずいます。

はじめてのことが多く、戸惑いと不安の日々ですが、これまで経験したことや養成校で学んだことを活かして、一日でも早く患者さんに貢献できるように日々精進して参ります。今後ともよろしくお願い致します。



作業療法士 吉村 大輔

はじめまして、4月から勤務させて頂いております、高知赤十字病院から来ました吉村 大輔と申します。地元は高知であり、この生まれ育った地で勤務できることを嬉しく思います。休日は趣味の弓道や、甘党でありカフェ巡りなどしながらリフレッシュしております。

高知病院は病室やリハビリ室からの景観もよく、入院中の患者さんも穏やかな環境でリハビリに取り組まれています。前職場では脳疾患患者さんを中心にリハビリを実施させて頂き、高知病院では運動器、呼吸器、重心病棟など未経験の分野で、一つ一つ学んで生きたいと思いをしますので、今後ともよろしくお願い致します。



一般職員（庶務係） 五味 恭湖

はじめまして。この度4月1日より管理課の庶務係として勤務させて頂いております、五味 恭湖（ごみ きょうこ）と申します。出身は香川県で以前はクラークとして1年ほど勤務しており

ました。職種や環境も異なり不安や緊張もありますが、質問やアドバイスをしやすい環境でとてもありがたく感じております。

至らぬところが多く、ご迷惑を多々おかけすることもあるかもしれませんが、少しでも早く出来ることが増えるように日々精進したいと思います。これからよろしくお願いいたします。

～第三回～ 高知病院谷淳吉記念賞

令和2年3月26日（木）第3回「高知病院 谷 淳吉 記念賞」の授賞式が執り行われました。

今回で第3回目を迎えるこの賞は、学会等の発表において高い評価を受けた職員や模範となる業績を上げた職員などを対象としています。今回も多数の対象職員の中から当院初となる第73回国立病院総合医学会のQC活動での最優秀賞受賞者を含む5名の職員が受賞しました。授賞式では、病院長から一人一人に祝辞を述べられ、受賞された職員の皆さんは満面の笑顔でした。なかには2年連続受賞された職員もいるなど、職員の中でこの賞が仕事への励みになっていると改めて感じました。



「健康フェスタ」、「高知病院地域医療連携連絡会」 自粛・中止

この度、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、例年春に開催しておりました高知病院主催「健康フェスタ」の2020年度開催及び「第12回高知病院地域医療連携連絡会」を自粛・中止することを決定致しました。

なお、本年度については中止に伴う順延はございません。

健康フェスタを楽しみにされていた患者さん並びに地域住民の皆様、例年地域医療連携連絡会にご参加いただいている高知県下の医療関係者の皆様には誠に心苦しい限りではございますが、ご理解いただきますよう、お願い申し上げます。

栄養管理室だより

栄養管理室の業務について



栄養管理室長代理
永野 由香里

栄養管理室はチーム医療の一翼を担う部門として、患者さんに合わせた適切なお食事の提供と栄養食事指導および栄養サポートチームをはじめとした各種チーム活動等の実践をととして治療に貢献すべく栄養管理業務に取り組んでいます。

《栄養管理について》

入院時には患者さん一人ひとりの栄養状態について医師、看護師、管理栄養士が協働して栄養アセスメントを行い、栄養管理計画を立案、病状や治療の経過に応じて継続した栄養管理をおこなっています。

《栄養サポートチーム活動》

入院中に栄養状態が低下したり栄養状態の改善が必要と思われる患者さんには、多職種（医師、薬剤師、看護師、検査技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等）がそれぞれの専門性を発揮して多方面から患者さんの栄養サポートをおこなっています。

《栄養食事指導・食事相談》

入院中や退院後のお食事について、医師の指示により管理栄養士が栄養食事指導をさせていただいております。治療の副作用等によりお食事が食べにくい場合には食事内容を調整させていただき、少しでも食べやすいお食事の提供に努めています。

《チーム医療への参画》

当院には褥瘡対策チームや緩和ケアチームをはじめ様々な医療チームがあります。チーム活動を通じて管理栄養士の専門性を生かした患者支援を行っています。

《食事サービス》

医師の指示のもと患者さんに適したお食事を提供させていただいております。患者さんに少しでも満足していただけるよう、常食をお召し上がりの方を対象とした選択食や特別メニューの提供をはじめ、年間を通じた行事食や御出産お祝い膳の提供等を行っています。



令和2年度の診療報酬改定では、栄養サポートチーム加算の見直しにより新たに対象病棟が拡大、また外来化学療法での栄養管理や入退院支援そして栄養情報の提供に対する評価など管理栄養士の働きが認められる内容が追加となりました。「医食同源」という言葉がありますが、栄養療法はほとんどの疾病治療の一部であり基本となります。これからも適切な栄養管理の実施に努めてまいります。

感染管理室長だより

COVID-19について

～「長く続く風邪症状」がキーワード～

感染管理室長
岩原 義人

新型コロナウイルス感染症は急激な勢いで感染者数が増加しており、世界中で猛威をふるっています。

厚生労働省は2月17日に示した「相談・受診の目安」を5月8日に改訂し、「相談・受診の目安」を、▽息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状がある場合、▽高齢者、基礎疾患を持つ人、免疫抑制剤や抗がん剤等を使う人で発熱や咳などの比較的軽い風邪症状がある場合、▽上記以外で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合、としています。「症状が4日以上続く場合は必ずご相談ください」とも示されています。

3日以内によく回復してきた人は、COVID-19の可能性としては低く、やはり「長く続く風邪症状」の場合が疑わしいです。これまでの症例報告等で発表されている病態、臨床所見等を下記にまとめます。

- **潜伏期**：平均5日、97.5%が感染から11.5日以内に発症。
- **症 状**：武漢での重症例41例（致死率15%）の報告では：発熱 98%、咳 76%、呼吸苦 55%、喀痰 27%、筋肉痛・だるさ 44%などと報告されている。
- **実際には無症状～感冒症状～重症呼吸不全と幅広いが鼻汁・くしゃみ・下痢は少数とされる。**
初期には4割ほどしか発熱（ $\geq 37.5^{\circ}\text{C}$ ）しないと報告されている。
嗅覚または味覚障害は33.9%主に初期症状としてみられる。
- **臨床経過**：1週間位だらだらした症状が続き、8割は軽症のまま治癒する。2割は1週間を過ぎたころから肺炎が重症化し入院が必要になっており、全体の5%はICUに入っている。
- **画像所見**：胸部単純写真で異常があったのは59.1%のみで胸部CTでは86.2%で肺炎像が確認できたとされる。無症候性感染者であっても胸部CTを撮影すると肺炎像が観察されることがあり、クルーズ船では無症状～軽症でも約半分に肺炎がみられた。典型的なCT画像所見としては、両側肺野末梢側の多発性すりガラス陰影～浸潤影であり、下葉に多い。
- **血液検査所見**：WBCは90%が正常から低下。
リンパ球数の低下は35%にみられる。
CRPは多くは上昇し5程度にあがる。
プロカルシトニン6%でしか上昇しない。
LDHは76%で上昇し、肝障害は35%に認められる。

実際にはインフルエンザや市中肺炎と鑑別が困難な場合があり、また他の疾患で入院後COVID-19が判明ないし発症ということも十分起こり得る状況です。院内でのクラスター発生を防ぐためには、日頃からの標準予防策の徹底（特に手指衛生）が非常に大事です。

医療安全管理室だより

医療安全管理室係長
山本 三恵

医療安全への取り組み紹介

医療安全管理室係長8年目の山本です、よろしくお願いします。

医療安全の目指すところは、「医療現場におけるエラーを防ぎ事故を防止すること」です。人間は誰でも間違えるという特性を持っています。そのため、間違いを防ぐためのシステムを構築する事がまずは重要です。しかし、いかに予防策を講じていてもエラーは発生します。予防策の次に重要なのは、エラーが発生した際の対応と考えます。

そこで、医療安全管理室では急変時対応の充実に向けての活動を行っています。

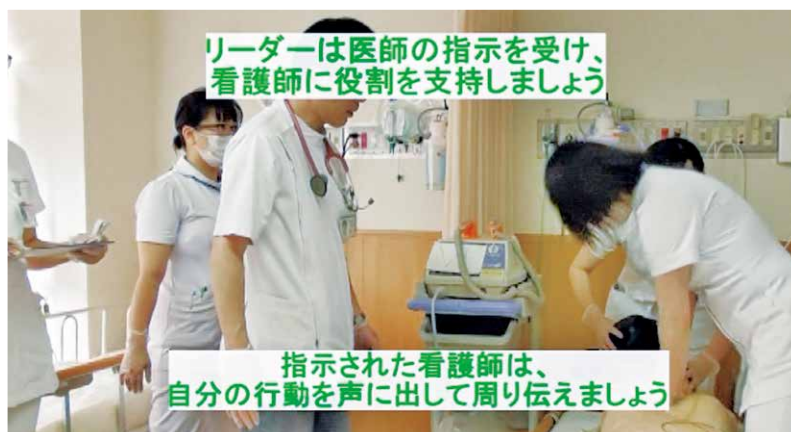
内容はコメディカル対象にBLS・AEDの出前研修(演習)を毎年実施しています。参加率は71%程度です。誰もが病院職員である自覚を持っていただき、急変時は医師・看護師でなくても救命活動が行えるように準備しておくことが目的です。今年も5～6月に予定しておりますので、できる限りの参加をお願いします。

看護に対しては、ハリーコール時の対応が迅速

に適切に行えるよう、『急変時対応シミュレーションDVD』を作成し、全看護職員に視聴していただきました。そして、実際にハリーコール時に駆けつける看護師対象に、ハリーコール訓練を実施しました。訓練の効果を評価するために、実際のハリーコール時に、医療安全管理係長が評価を行っています。評価結果は該当部署にフィードバックし、部署内での振り返りと課題抽出、対策まで検討していただいています。

ところで、当院のハリーコール件数はご存じですか？2015年度は15件でしたが、2019年度には6件まで減少しています。その理由は、DNAR（終末期医療において心肺停止状態になった時に二次心肺蘇生措置を行わない）の増加によると考えます。急変時対応の機会が少ないと、有事の時に慌ててしまい、迅速な対応が難しくなります。備えあれば憂いなしです。是非とも、医療安全研修に参加いただき、憂いをなくしていただきたいものです。

急変時対応シミュレーションDVD



看護学校だより

第55期生36名が
学び舎を巣立っていきました看護学校
松下 裕子

桜のつぼみも膨らみ始めた令和2年3月6日、第55期生36名の卒業証書授与式を行いました。

新型コロナウイルス感染症による感染拡大防止のため、全国で卒業式や様々な催し物の中止が決定される中、本校でもご来賓の方々やご



家族を招待しての卒業式中止が決定し、教職員一同、卒業を前にした3年生の心中を思うと胸が張り裂ける思いでした。このような状況にクラスメートと多くの時間を過ごした教室で、この3月末で本校学校長を退官される大串学校長より、卒業生一人一人に、直接、卒業証書を授与していただくことができたことは、卒業生にとって感慨深く、一生、心に温かく刻まれる1ページとなったことは言うまでもありません。



卒業証書を授与された後、大串学校長より「一日に一つ、自分では難しいことを目指し、それをやり抜かない限り、人としての成長は望めない。そしてより高い山を目指す時、最後まで向き合い続けなければならないのは、自分自身であり、自分を超越続けた人が、自身を最も高いレベルに導くということを忘れずに、一段高い景色を見て欲しい。」との卒業生の指針となる厳しくも温かいお言葉をいただきました。

また卒業生代表からは「厳しい現実が待ち受けている時、ウィルセレモニーで掲げた『There is always light behind the clouds ～雲の向こうは、いつも青空～』の言葉を思い出し、上を向き、前進し続ければ乗り越えていけること、そしてその先には真っ青で澄んだきれいな空が見えることを信じ、終わりのない看護の道を邁進していきます。」と力強い答辞の言葉が聞かれました。

卒業証書授与式を終え卒業生たちは、学校玄関前で大串学校長を中心に教職員と記念撮影をしました。春のやわらかで優しい陽ざしの中、卒業生たちの笑顔があふれました。

全国の医療の現場は、現在コロナウイルス感染症の影響で医療崩壊も招きかねない厳しい現状にあります。そのような現場で新人看護師としての第一歩を踏み出した卒業生たちは、これまで経験したことのない困難と向き合う日々を過ごしているはずですが、副担任として大丈夫だろうかと心配もありますが、卒業生たちを信じてここ高知の地から見守り続けたいと思います。



地域医療 連携室だより

看護師長
西本 美香



高知病院地域連携連絡会等の 開催自粛について

当院で毎月開催しております高知病診連携フォーラム及び呼吸器カンファレンスにつきまして、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、当分の間、自粛させて頂くこと、また、5月に開催しておりました健康フェスタ、8月に開催しておりました高知病院地域連携連絡会の開催は中止となりました。皆様には、御理解いただきますようお願い申し上げます。高知病診連携フォーラム及び呼吸器カンファレンス再開の日程が決まりましたら改めてご案内申し上げます。

★新メンバー紹介★

4月から、4名の新メンバーを迎えました。今年度も、新たなスタッフと協力し、役割が果せるように努めてまいりたいと思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。



副看護師長
長浦 英世
(がん性疼痛看護認定看護師)

この春から、地域医療連携室・がん相談支援センターに配属になりました。7年ぶりとなります。私は主に、がん相談支援センター業務が中心となります。地域の皆様との繋がりを大切に、初心に戻って頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。



看護師
西村 美鈴
(前方支援看護師)

4月から外来から勤務移動になりました。紹介患者の受け入れ担当として対応していきます。地域の連携病院から、スムーズに受診ができるように取り組んで行きたいと思います。微力ではありますが頑張っていきたいと思います。



看護師
加藤 千恵
(入院時支援担当看護師)

4月から配置されました。私は入院支援看護師として配属となり、患者さんが安心して入院医療が受けられるように支援をしていきたいと思います。分からないことばかりですが精一杯頑張りたいと思います。

事務助手 高橋 彰子

4月から地域医療連携室の事務助手として勤務しています。不慣れでご迷惑をかけていますが、早く仕事を覚えていきたいと思っています。

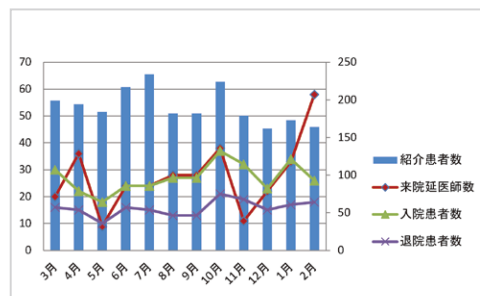


事務助手 渡邊 佳恵

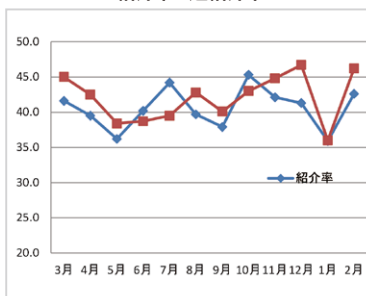
5月から地域医療連携室で勤務しています。入ったばかりで色々ご迷惑をおかけすると思いますが頑張っていきます。よろしくお願いします。

高知病院地域連携等概況

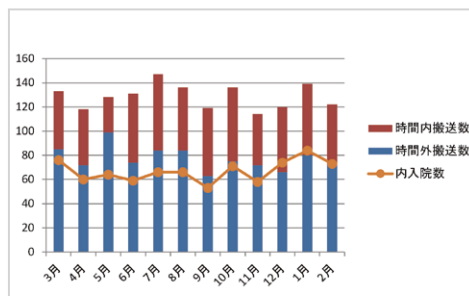
オープンシステム利用状況



紹介率・逆紹介率



救急搬送受診者数



職員の異動

1月2日付～4月1日付の人事異動（常勤）

勤務延長

▶ R2.3.31

小児科医師 井上 和男

採用

▶ R2.2.1

臨床研究部長 竹内 栄治

診療放射線技師 萩野 孝弥

▶ R2.4.1

麻酔科医師 久米 克佳

消化器内科医師 高橋 早代

消化器内科医師 高橋 拓

耳鼻咽喉科医師 武田 貴志

呼吸器内科レジデント 近藤 圭大

臨床研修医 渡部 伸一朗

臨床研修医 小林 由佳

臨床研修医 山本 大介

臨床研修医 小松 大祐

臨床研修医 山田 眞子

看護師 齊原 妃奈子

看護師 上田 由夏

看護師 山岡 凌

看護師 岡村 亜美

看護師 岡村 早苗

看護師 北村 恵美

看護師 西川 雅代

看護師 楠瀬 まりあ

看護師 川渕 朱里

看護師 吉村 光平

助産師 中森 未空

看護師 小崎 啓子

看護師 大橋 由奈

看護師 篠原 麻衣子

看護師 新谷 幸代

助産師 中嶋 秋沙

看護師 山崎 一

看護師 香川 菜月

看護師 田能 千里

看護師 島田 夏代

看護師 中西 香織

看護師 友納 麻美

看護師 山崎 麻央

看護師 岡林 賢

看護師 大野 雛衣

看護師 小山 枝里沙

看護師 東 彩里

看護師 高松 里奈

看護師 橋本 あすか

一般職員（庶務係） 五味 恭湖

薬剤師 込山 武弘

理学療法士 廣田 昌也

作業療法士 吉村 大輔

転入

▶ R2.4.1

事務部長 渡邊 和幸

業務班長 室山 孝

専門職 田中 宏志

職員係長 岡崎 亮

製剤主任 野村 竜也

臨床検査技師長 香川 昭博

生理学主任 堀川 明日香

臨床検査技師 菅原 恵奈

理学療法主任 丸橋 尚也

保育士 山本 香織

保育士 西田 益三

教員 露口 絵美

教員 月原 亜紀

副看護部長 小笠原 あゆみ

看護部長 山本 美恵

看護部長 小松 里香

看護部長 岸田 恵

看護師 浅野 和佳奈

看護師 池添 遥

看護師 三谷 采佳

看護師 山川 明日香

看護師 浅野 裕衣

看護師 徳山 文菜

看護師 松崎 悠衣

看護師 横田 恭子

昇任

▶ R2.4.1

院長 先山 正二

副院長 福田 昇司

副看護部長 清岡 美月

副看護部長 橋内 里佳

副看護部長 川村 貴衣

配置換

▶ R2.4.1

経理係長 八木 雅生

職員係 屋口 有香

助産師 上田 真以

助産師 中内 美佑

再雇用

▶ R2.4.1

ボイラー技士 片岡 廣明

臨床検査技師 宮内 幹雄

看護師 加藤 千恵

看護師 西村 美鈴

▶ R2.3.31

看護師 田中 恭一

看護師 安藤 和代

看護師 萩野 ユカリ

准看護師

西村 真理子

退職

▶ R2.3.31

院長 大串 文隆

外科系診療部長 渡邊 裕修

耳鼻咽喉科医師 内藤 圭介

消化器内科医師 岡崎 潤

泌尿器科医師 佐竹 宏文

呼吸器内科医師 矢野 洋平

臨床研修医 清水 茂翔

臨床研修医 藤原 利輝

臨床研修医 和田 秀之

臨床検査技師 安野 智哉

理学療法主任 川村 雅子

看護部長 松瀬 由里子

看護師 杉本 愛香

看護師 山田 あさか

看護師 柴岡 栄子

助産師 千頭 和香

助産師 安野 陽花里

看護師 倉本 みゆき

看護師 徳廣 真弓

看護師 松谷 祐樹

看護師 安岡 梨紗

ボイラー技士長 片岡 廣明

臨床検査技師長 宮内 幹雄

看護部長 西村 美鈴

看護師 加藤 千恵

准看護師 下元 つや

転出

▶ R2.4.1

事務部長 浅松 誠治

業務班長 井上 昇

専門職 月原 研

職員係長 和田 吉弘

職員係 三崎 一輝

製剤主任 田中 健治郎

薬剤師 青野 左知子

臨床検査技師 山下 満愛

理学療法士 橋内 孝典

作業療法士 阿利 陽介

看護部長 武吉 純代

副看護部長 深木 智与

副看護部長 森山 恵美子

看護師 水口 加菜

看護師 山河 綾

教員 湯浅 佳奈

教員 田中 絵美子



外来診療担当医表

(令和2年4月1日現在)

■受付時間 8:00～11:00

■休診日 土曜・日曜・祝日・12月29日～1月3日



独立行政法人
国立病院機構 **高知病院**

〒780-8077 高知県高知市朝倉西町1丁目2番25号
TEL (088) 844-3111 FAX (088) 843-6385
<http://www.kochihp.com>



診療科	区分・診察室番号			月	火	水	木	金
内科	午前	1 診	⑫	岩原 義人	山崎 隆志	井上 修志	篠原・竹内 (隔週)	
		特別外来	⑪	松森(糖尿病)	岩原(血液)	松森(糖尿病)	岩原(内科)	松森(糖尿病)
	午後	専門外来				化学物質過敏症(予約制)		
神経内科			⑬	不定期(院内案内板に掲示しています。お電話にてお問い合わせ下さい。)				
呼吸器内科 アレルギー科	午前	1 診	⑧	岡野 義夫	竹内 栄治	畠山 暢生	竹内 栄治	門田 直樹
		2 診	⑥		安宅・近藤(隔週)		町田 久典	畠山 暢生
		3 診	⑫					
	午後	専門外来					禁煙外来 14:00～15:30(予約制)	
消化器内科	午前		⑨	林 広茂	池田 敬洋	高橋 早代	高橋 拓	池田 敬洋
循環器内科	午前		⑦	山崎 隆志	西村 直己		山崎 隆志	
	午後		⑦			伊藤 いづみ 受付13:30～16:00	ペースメーカー (第2木曜)	
リウマチ科			⑩	松森 昭憲 (糖尿病も診察)				松森 昭憲 (糖尿病も診察)
小児科	午前	1 診	①	大石 尚文	井上 和男	大石 尚文	小倉 英郎	大石 尚文
		2 診	②	佐藤 哲也	武市 知己	佐藤 哲也	佐藤 哲也	高橋 芳夫
		3 診	③	井上 和男	濱本 諒	小倉由紀子	井上 和男	
	午後	専門外来		慢性疾患 アレルギー	神経・アレルギー 循環器(第2火曜 医大循環器)	乳児健診	アレルギー NICU フォローアップ	慢性疾患 乳児健診
		予防接種		14:00～16:00(予約制)	14:00～16:00(予約制)	14:00～16:00(予約制)	14:00～16:00(予約制)	14:00～16:00(予約制)
外科 消化器外科 小児外科	午前		⑤・⑥	浅野間 理仁	福山 充俊 (乳がん検診も実施)	山崎 誠司	福山 充俊 (乳がん検診も実施)	金本 真美 (肝臓・胆道・膵臓外来)
	午後	専門外来		浅野間 理仁 (ヘルニア外来) 受付15:00まで	福山 充俊 (乳腺外来)		福山 充俊 (乳腺外来)	
呼吸器外科	午前		⑧		先山 正二		先山 正二	先山 正二
			⑦		日野 弘之		日野 弘之	
乳腺科	午前		⑤	本田 純子		本田 純子		
	午後		⑧			本田 純子 受付15:30まで		本田 純子 受付15:30まで
整形外科	午前		①	福田 昇司 (予約制)		川口 真司	福田 昇司	合田有一郎
			②	川口 真司				
	午後		②	骨粗鬆症 13:00～15:00(予約制)			田村 竜也 (予約制)	
脳神経外科	午前	1 診	⑧			非常勤 9:00～11:00(予約制) 予約外の方はお問い合わせ下さい		
皮膚科	午前		⑬	高橋 綾	高橋 綾	高橋 綾	高橋 綾	高橋 綾
泌尿器科	午前	1 診	⑨	島本 力 診察開始 9:00～	医大医師 診察開始 9:00～	医大医師 診察開始 9:00～		医大医師 診察開始 9:00～
		2 診	⑦					島本 力(予約制) 診察開始 9:00～10:30
産科	午前		③⑤	滝川 稚也	滝川 稚也	今泉 絢貴 1ヶ月検診	今泉 絢貴	産科特殊外来(予約制)
	午後							
婦人科	午前		③①	木下 宏実	今泉 絢貴 クーポンがん検診 (予約制) 10:30～11:30	木下 宏実	滝川 稚也 クーポンがん検診 (予約制) 10:30～11:30	木下 宏実
	午後							思春期外来(予約制)
眼科	午前		⑫③	戸田 祐子	戸田 祐子	戸田 祐子	戸田 祐子	戸田 祐子
耳鼻咽喉科	午前		⑬⑥	中野・武田	中野・武田	中野・武田	中野・武田	中野・武田
放射線科				塩田 博文	塩田 博文	塩田 博文	塩田 博文	塩田 博文

※ 市町村発行のクーポン券を利用される乳がん検診は、平日の午前中 外科外来にて行っています。診察も希望される場合は事前に外科までお問い合わせください。

※ 当日の受付は午前11:00までとなっております。